

I 平成 23 年度事業報告

1. 会議等

1) 総会

日時：平成 23 年 6 月 16 日（金） 13：30～18：30

場所：大和ミュージアム 4F 会議室 広島県呉市宝町 5-20

・施設見学会 海上保安大学校資料館

大和ミュージアム

・交流会 呉阪急ホテル 4F 皇城の間

2) 企画委員会

第 1 回企画委員会

日時：平成 23 年 7 月 21 日（木） 14：00～16：00

場所：社団法人ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

第 2 回企画委員会

日時：平成 23 年 10 月 13 日（木） 14：00～16：00

場所：社団法人ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

第 3 回企画委員会

日時：平成 24 年 3 月 21 日（水） 15：30～17：00

場所：社団法人ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

3) 役員会

日時：平成 24 年 2 月 17 日（金） 10：30～13：30

場所：社団法人ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

4) 助成事業審査委員会

日時：平成 23 年 12 月 16 日（金） 14：00～16：00

場所：社団法人ウォーターフロント開発協会事務所

東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3F

2. 平成 24 年度助成事業について

平成 23 年 12 月 16 日に開催された審査委員会で次の 5 件の助成が決定された。

	館 名	活 動 名	実施期間	助成金
1	みちのく北方漁船博物館	あおもりの海・船トーク 2012 -海の資源と環境を学ぼう-	平成 24 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 3 月 31 日	80 千円
2	青函連絡船メモリアルシップ プ八甲田丸	企画展「機械遺産認定記念- 青函 連絡船と可動橋写真展」	平成 24 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 3 月 31 日	230 千円
3	横浜みなと博物館	黒船ペーパークラフト教室	平成 24 年 4 月 1 日～ 平成 25 年 9 月 22 日	190 千円
4	名古屋海洋博物館	オホーツクの流氷に触れてみませ んか	平成 25 年 2 月中旬 (4 日間)	140 千円
5	海峡ドラマシップ (関門海峡ミュージアム)	夢とロマンの帆船模型展	平成 24 年 4 月 21 日～ 平成 24 年 5 月 31 日	160 千円
合 計			5 館	800 千円

《 平成 24 年度助成事業審査委員会 》

委員名簿

(五十音順、敬称略)

飯沼 一雄 企画委員 (船の科学館 学芸部長)

池上 正春 国土交通省港湾局 国際・環境課 課長

(代理) 正木 一弘 国土交通省港湾局 国際・環境課 計画第二係長

志澤 政勝 企画委員長 (横浜みなと博物館 副館長)

○ 堀川 洋 社団法人日本港湾協会 事務局長

(○:委員長)

3. 会報の発行

平成 23 年 10 月 17 日、会報第 7 号を発行
ホームページ再開にあわせ



Port
Museum
Network
Forum

7

みなとの博物館
ネットワーク・フォーラム
Port Museum Network Forum

みなとの博物館ネットワーク・フォーラム事務局
(社団法人ウォーターフロント開発協会内)

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル 3 階

TEL:03-3453-4191 FAX: 03-3453-0252

E-mail wf@waterfront.or.jp

ご挨拶



会長 戸高 一成
呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）館長

まず、改めまして、東日本大震災の犠牲者のご冥福をお祈りすると共に、復興の一日も早い事を念じています。

現在、港の博物館に限らず、博物館等の置かれた社会的状況には、厳しいものがあります。その背景には、博物館などの運営管理の主体である、国や自治体、または団体などの、博物館の有り方に対する理解に、まだ充分ではないところがあるように思われます。

特に、海に囲まれ、世界有数の広大な海域を領海として保有する日本にとって、国民に向けての海洋文化に関わる問題の啓蒙活動には、国家的見地から、充分な対応がなされるべきなのですが、現状は、はなはだ危ういものがあります。

みなとの博物館ネットワーク・フォーラム会員館の皆様も、教育、文化施設としての博物館の将来を考える時、広く国民にむけて活動すると同時に、国や自治体などに対しても、港の博物館の文化事業としての重要性を強く訴えていくことも、必要ではないかと思うのです。

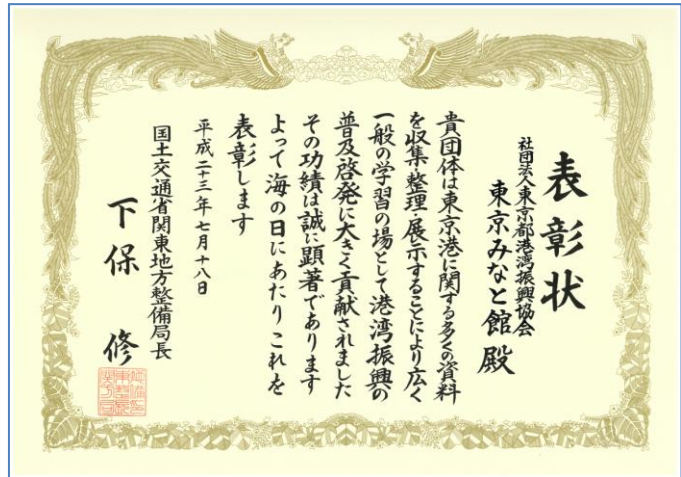
とは言っても、簡単に解決できる問題ではありません。これから、会員館の皆様と、広く情報を交換しながら、ゆっくりと時間を掛けて、それぞれの館が、その館ならではの内容の、ユニークな活動と、安定した運営ができるようになることを、考えてゆきたいと思います。

さて、本年は、みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの全国大会を、私が館長を勤めさせていただいている、呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）で開催させていただき、予想を超える盛会のうちに、無事終了致しました。このような形で、フォーラムのお手伝いが出来た事を感謝しています。

また、一時、改修のために閉鎖していましたがみなとの博物館ネットワーク・フォーラムのホームページを、このたびリニューアルして再開いたしました。会員の皆様のご意見を反映した内容としたいと思っておりますので、ご意見などをお寄せいただけますよう、お願いします。

4. 表彰状の授与

東京みなと館は港湾振興活動の普及啓発に貢献したとして海の日付で国土交通省関東地方整備局長より表彰された。



5. 国土交通省への要望

平成 23 年 9 月 26 日 (月)
国土交通省港湾局長他関係各課に要望書を提出した。

1. みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動に対する支援の継続

現在、正会員 32、賛助会員等は 89 で、設立当初より会員数は減少していますが、いわゆる“みなとの博物館”と言える主要な博物館の大半が、正会員として加入し、安定して活動に参加しているところです。しかし、いずれの博物館も経営環境は厳しく、当ネットワーク・フォーラムの活動を、会費のみで運営していくのは大変難しい状況です。当ネットワーク・フォーラムの主要事業である助成事業、スキルアップ交流会等は、高く評価され、みなとの博物館の活動に大きな意義を有しています。つきましては、このことを十分理解され、今後ともご支援頂きますよう、特段のご指導を要望致します。

6. ホームページについて

平成 23 年 10 月
新ホームページがオープン。
<http://www.waterfront.or.jp/portmuseum/>

①今月の逸品スタート

- 11 月 vol.1 東京みなと館
「慶長小判」
- 12 月 vol.2 船の科学館
「南極観測船“宗谷”」
- 1 月 vol.3 日本郵船歴史博物館
「伏見丸銀製模型 (1/400)」
- 2 月 vol.4 横浜みなと博物館
「新港ふ頭返還記念の鍵」
- 3 月 vol.5 フェルケール博物館
「缶詰記念館建物」
(旧清水食品株式会社社屋)



4月 vol.6 名古屋海洋博物館

「神島信号所 双眼鏡」

5月 vol.7 なにわの海の時空館

「ラッキードラゴン」

②ミュージーロブログ

企画委員を中心に広く募集した。

7. ポスターの作成について

関係者に配布。

(印刷部数 300+予備 40 在庫 23 部)

8. スキルアップ交流会

日時：平成 24 年 3 月 15 日～16 日

場所：福井県立恐竜博物館

参加：6 館 6 名特別参加 2 名 計 8 名

補助：片道交通費

研修内容： ・福井県立恐竜博物館 施設見学

・講演 講師 東 洋一氏(福井県立恐竜博物館特別館長)

・交流会

・意見交換会 テーマ：「PR と集客」

9. メールマガジン「博物館情報」の配信

平成 22 年 9 月より毎月 1 回配信。

正会員のほか、メールアドレス登録している会員、ウォーターフロント開発協会会員、国土交通省各港湾事務所等約 800 ヶ所に毎月 1 回 15 日頃配信している。

